

使用上の注意	2
安全情報	2
クラス B 電波放射規制	2
重要な安全上の指示	2
注意	4
目の安全に関する警告	6
はじめに	7
製品の特長	7
同梱品の説明	8
製品概要	9
本体	9
コントロールパネル	10
背面図	11
リモートコントロール	12
インストール	13
プロジェクタの接続	13
コンピュータ / ノートブックへの接続	13
ビデオソースへの接続	14
プロジェクタの電源オン/オフ	15
プロジェクタの電源をオンにするには	15
プロジェクタの電源をオフにするには	16
警告インジケータ	16
投影画像の調整	17
プロジェクタの高さを調整するには	17
ズーム / フォーカスの調整	18
ユーザコントロール	19
コントロールパネル	19
リモートコントロール	20
オンスクリーンディスプレイメニュー	22
操作方法	22
メニューツリー	23
イメージ	24
ディスプレイ	29
セットアップ	31
オプション	39
付録	44
トラブルシューティング	44
画像の問題	44
中断の問題	46
プロジェクタ状態表示	47
リモートコントロールの問題	48
音声の問題	48
ランプの交換	49
プロジェクタのお手入れ	50
互換モード	51
天井取付	53
Optoma 社 お問い合わせ先	54
規制及び安全に関する情報	56
操作条件	57

安全情報

	稲妻のような矢印がある正三角形のマークは、製品の筐体内に絶縁されていない「危険な電圧」があるため、感電の危険があることをユーザに警告するためのものです。
	正三角形に感嘆符があるマークは、本装置の説明書に記載されている操作と保守(修理)に関する重要な指示に注意を喚起するものです。

警告：火災や感電の危険を回避するため、 프로젝タを雨や湿気に曝さないでください。筐体内には危険な高電圧が存在します。筐体を開けないでください。

修理は資格のある技術者に依頼してください。

クラス B 電波放射規制

このクラス B デジタル装置は、カナダの電波干渉発生装置に関する規制をすべて満たしています。

重要な安全上の指示

1. この 프로젝タを使用する前に、この説明書をお読みください。
2. この説明書を今後の参照用に保管してください。
3. すべての指示に従ってください。
4. 製造元の指示に従って設置してください：
 - A. **通気口をふさがないでください。** 프로젝タの確実な動作を保証し、過熱から 프로젝タを守るため、適切な通気を妨げない位置と場所に 프로젝タを置いてください。例えば、通気口をふさぐ可能性があるベッドやソファ、カーペット、その他類似の表面上に 프로젝タを配置しないでください。本棚や戸棚など、通気口からの気流を妨げる可能性がある閉ざされた空間に 프로젝タを置かないでください。
 - B. **水や湿気の近くでこの 프로젝タを使用しないでください。** 火災や感電の危険を回避するため、 프로젝タを雨や湿気に曝さないでください。
 - C. **放熱器やヒーター、ストーブ、その他熱を発生する装置（増幅器を含む）などの熱源の近くに設置しないでください。**
5. 乾いた布のみで掃除してください。
6. 製造元の指定する同梱品または付属品のみを使用してください。



使用上の注意

7. 修理はすべて資格のある技術者に依頼してください。プロジェクトに次のような破損が生じた場合、修理が必要です：

- 電源コードまたはプラグが破損した。
- 装置の中に液体をこぼした、または物品を落とした。
- プロジェクトが雨または湿気に曝され、通常通りに動作しない、またはプロジェクトが落下した。

このプロジェクトを自分で修理しようとししないでください。カバーを開けたり、取り外したりすると、危険な電圧やその他危険に曝される場合があります。お近くの認定サービスセンターをご案内しますので、オプトラにご連絡ください。

8. 危険な電圧ポイントに触れたり、部品の短絡を発生して火災や感電を引き起こすことがあるため、プロジェクトに物品や液体が入らないようにしてください。
9. プロジェクトの筐体で安全関連の表示をご確認ください。
10. 資格のあるサービス技術者を除き、プロジェクトの調整または修理を行わないでください。

注意



本ユーザガイドで推奨されるすべての警告、注意、保守に従ってください。

- 警告 - ランプがオンのときプロジェクタのレンズを覗き込まないでください。明るい光が目には傷害を与える場合があります。
- 警告 - 火災や感電の危険を回避するため、このプロジェクタを雨や湿気に曝さないでください。
- 警告 - 感電の危険があるため、プロジェクタを開けたり、分解したりしないでください。



❖ ランプが寿命に達すると、プロジェクタはランプモジュールを交換するまでオンにすることができません。ランプの交換は、49 ページの「ランプの交換」セクションに記載された手順に従ってください。

- 警告 - ランプを交換するときは、ユニットが冷却された後、交換方法に従って行ってください。49ページを参照してください。
- 警告 - このプロジェクタはランプの寿命を検出します。警告メッセージが表示されたらランプを交換してください。
- 警告 - ランプモジュールの交換後、オンスクリーンディスプレイの「オプション | ランプ設定」メニューから「ランプリセット」機能を使用してください (43ページ参照)。
- 警告 - プロジェクタをオフにするとき、電源を抜く前に冷却サイクルが完了したことを確認してください。プロジェクタの冷却には90秒かかります。
- 警告 - プロジェクタの動作中はレンズキャップを使用しないでください。
- 警告 - ランプが寿命に近付くと、画面上に「ランプの使用時間がランプの寿命に近付いています」というメッセージが表示されます。ランプの交換のため、お近くの販売店またはサービスセンターにできるだけ早くご連絡ください。

すべきこと:

- ❖ お手入れの前に製品の電源を切ってください。
- ❖ 中性洗剤で湿らせた柔らかい布でディスプレイのハウジングを拭いてください。
- ❖ 長期間製品を使用しないときは、AC コンセントから電源プラグを抜いてください。

すべきでないこと:

- ❖ ユニットの通気スロット及び開口部を塞がないでください。
- ❖ 研磨クリーナーやワックス、シンナーを使用してユニットのお手入れを行わないでください。
- ❖ 次の条件下では使用しないでください:
 - 極端に暑い、寒い、湿度の高い環境。環境室温が 5～40°、相対湿度 10～85%（最高）、結露のない環境を確保してください。
 - ゴミや埃の多い場所。
 - 強い磁場を形成する機器の付近。
 - 直射日光下。

目の安全に関する警告



- プロジェクタの光線を直接覗き込むことは常に避けてください。
- できる限り光線に面して立たないようにしてください。できるだけ背中を光線に向けるようにしてください。
- プレゼンターが光線に立ち入る必要性を回避するため、棒やレーザーポインタを使用することを推奨します。
- スクリーンから観客への視線の外にプロジェクタを配置してください。これによりプレゼンターが観客を見るときプロジェクタのランプを見なくて済みます。これを達成するため、プロジェクタを床や台上に配置するよりも天井取り付けにするのが最善です。
- 教室でプロジェクタを使用する場合、生徒がスクリーン上で何かを指し示すよう求められたとき、適切に生徒を監督してください。
- 必要なランプ電力を最小にするため、室内のブラインドを用い、環境の明るさを低減してください。

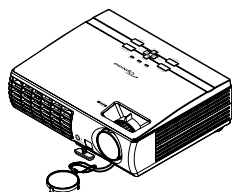
製品の特長

本製品はシングルチップ 0.55" XGA シリーズおよび 0.65" WXGA シリーズ DLP® プロジェクタです。卓越した次のような特長があります：

- ◆ テキサス・インスツルメンツのシングルチップ DLP® 技術
- ◆ コンピュータ互換性：
アップルマッキントッシュ、iMac、VESA 規格：
UXGA、SXGA+、SXGA、WXGA、WUXGA、XGA、SVGA、VGA
- ◆ ビデオ互換性：
 - NTSC、NTSC4.43
 - PAL/PAL-M/PAL-N/SECAM
 - SDTV および EDTV 対応
 - HDTV 対応 (720p、1080i、1080p)
- ◆ ユーザ定義による設定が可能な自動ソース検出
- ◆ マウスコントロール付きの完全機能型 IR リモートコントロール
- ◆ ユーザフレンドリーな多言語オンスクリーンメニュー
- ◆ 先進的デジタルキーストーン補正と高品質の全画面画像再スケーリング
- ◆ ユーザフレンドリーなコントロールパネル
- ◆ 1 ワットアンプ装備内蔵スピーカー1台
- ◆ マッキントッシュと PC 対応
- ◆ HDMI 1.3 対応

同梱品の説明

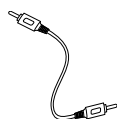
このプロジェクトには次のアイテムが同梱されています。お買い上げのユニットが完全であるか確認してください。不足がある場合、お買い上げ店にすぐにご連絡ください。



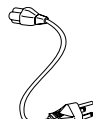
レンズカバー付プロジェクタ



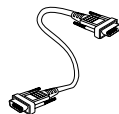
IR リモートコントロール
(単四電池2本)



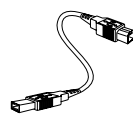
コンポジットケーブル
(RCA)



電源コード
1.8m



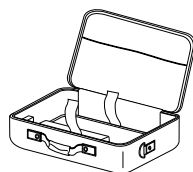
VGA ケーブル
1.8m



USB ケーブル
1.8m



❖ 各国でのアプリケーションが異なるため、一部地域では異なる付属品がある場合があります。



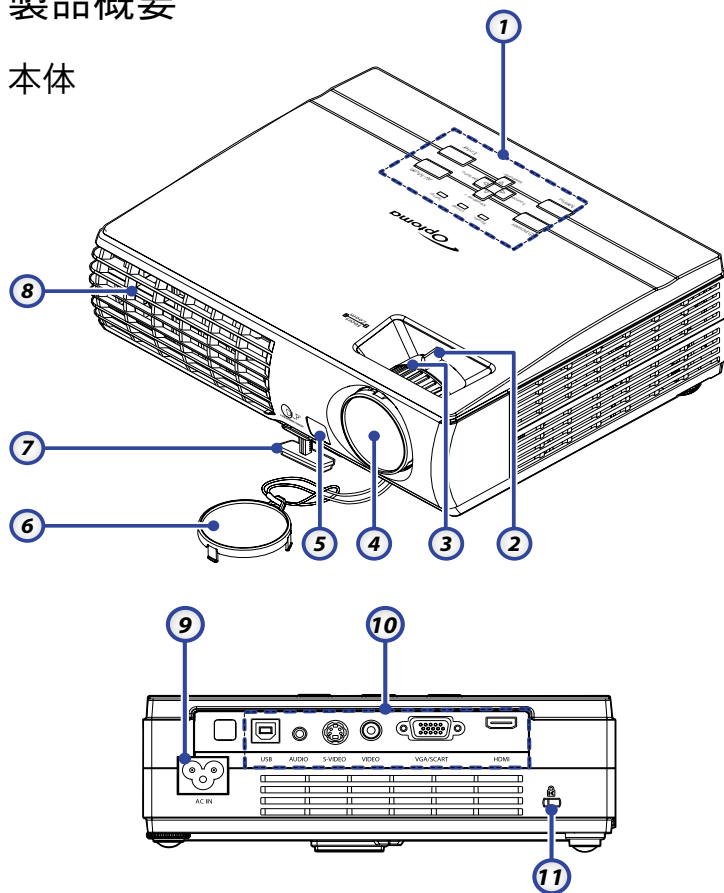
携帯用ケース

文書：

- ☒ 保証書
- ☒ クイックスタートカード
- ☒ WEEE カード

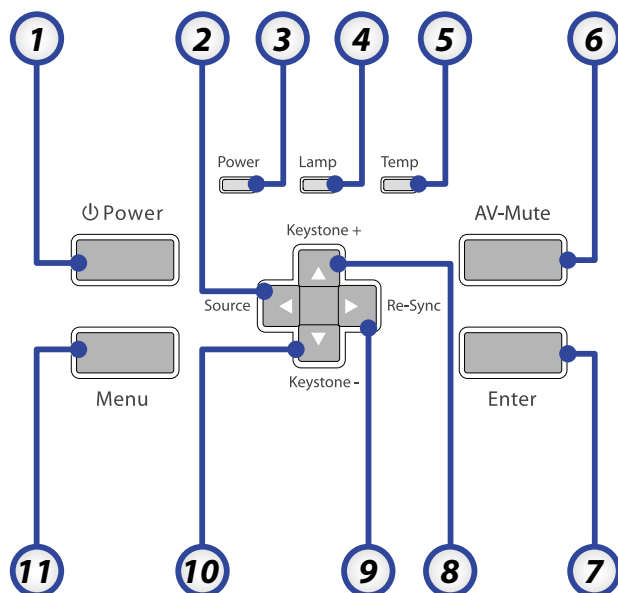
製品概要

本体



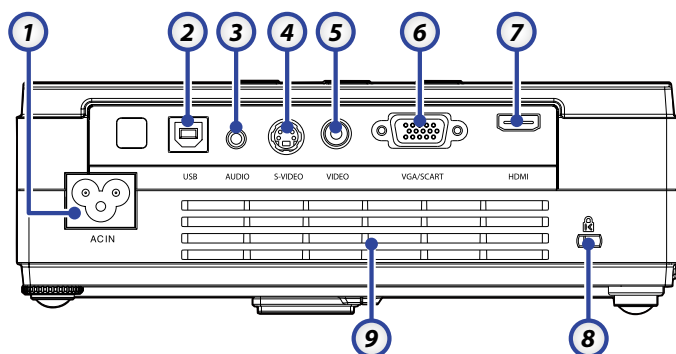
- | | |
|---------------|---------------------|
| 1. コントロールパネル | 8. 通気 |
| 2. ズーム | 9. 電源ソケット |
| 3. フォーカス | 10. 接続ポート |
| 4. レンズ | 11. Kensington™ ロック |
| 5. 前面 IR レシーバ | |
| 6. レンズカバー | |
| 7. 昇降脚部 | |

コントロールパネル



- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1. 電源 | 7. Enter |
| 2. ◀/ソース
(左矢印) | 8. ▲/キーストーン +
(上矢印) |
| 3. 電源 LED | 9. ▶/再同期
(右矢印) |
| 4. ランプ LED | 10. ▼/キーストーン -
(下矢印) |
| 5. 温度 LED | 11. メニュー |
| 6. AV-ミュート | |

背面図



1. AC IN (電源)
2. USB コネクタ
3. オーディオ入力コネクタ
4. S-Video 入力コネクタ
5. ビデオ入力コネクタ
6. VGA/SCART 入力コネクタ
7. HDMI コネクタ
8. Kensington™ ロックポート
9. 通気口

リモートコントロール

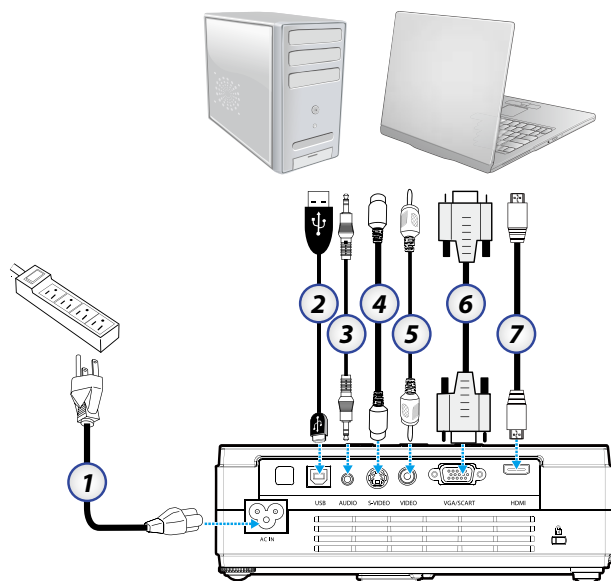
1. ボタン LED
2. 電源オン/オフ
3. ディスプレー
4. 前ページ
5. マウス右クリック
6. 四方向選択キー
7. 再同期
8. 次ページ
9. ボリューム +/-
10. メニュー
11. ズーム
12. AV ミュート
13. ビデオソース
14. VGAソース
15. フリーズ
16. S-Video ソース
17. HDMI
18. 輝度
19. 数字ボタン
(パスワード入力用)
20. キーストーン +/-
21. ソース
22. Enter
23. マウス左クリック
24. PC / マウスコントロール



プロジェクタの接続 コンピュータ / ノートブックへの接続



❖ 各国でのアプリケーションが異なるため、一部地域では異なる付属品がある場合があります。

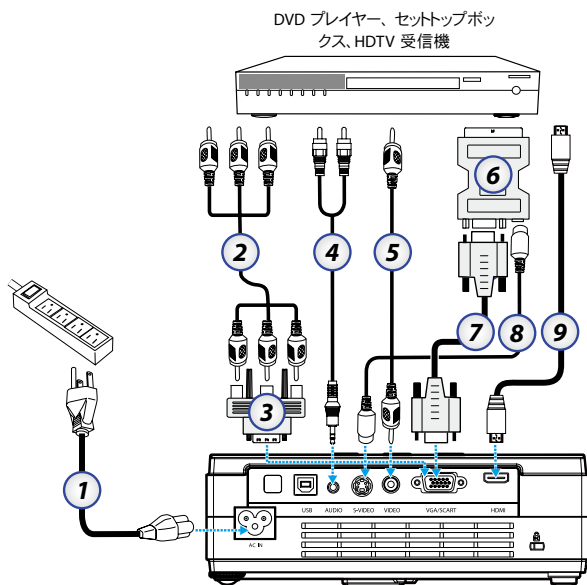


1. 電源コード
2. USB ケーブル
3. オーディオ入力(ミニジャック)
4. S-Video ケーブル
5. ビデオケーブル
6. VGA ケーブル
7. HDMI ケーブル

ビデオソースへの接続



❖ 各国でのアプリケーションが異なるため、一部地域では異なる付属品がある場合があります。

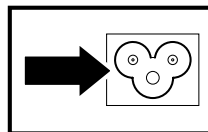


1. 電源コード
2. コンポーネントケーブル(オプション)
3. RGB ~ コンポーネントアダプタ(オプション)
4. ステレオシステムケーブル(オプション)
5. RCA ビデオケーブル
6. SCART ~ RGB & S-Video アダプタ(オプション)
7. VGA ケーブル
8. S-Video ケーブル(オプション)
9. HDMI ケーブル

プロジェクタの電源オン/オフ

プロジェクタの電源をオンにするには

1. 電源コードをプロジェクタに接続します。
2. 接続されたデバイスの電源を入れます。



3. 電源 LED が点灯(点滅)していることを確認してから電源ボタンを押してプロジェクタの電源を入れます。



❖ プロジェクタをオンにしてから信号ソースを選択します。

プロジェクタのスプラッシュスクリーンが表示され、接続されたデバイスが検出されます。接続されたデバイスが PC の場合、コンピュータのキーボード上で適切なキーを押してディスプレイ出力をプロジェクタに切り換えます。(お使いの PC のユーザマニュアルでディスプレイ出力を切り換えるための適切なFnキーを確認してください。)

セキュリティロックが有効になっている場合、37 ページの「アクセスパスワード(セキュリティーロック)の設定」を参照してください。



4. 1 つ以上の入力デバイスが接続されている場合、ソースボタンを繰り返し押しすとそれらデバイス間での切り換えができます。直接ソースを選択する操作については、21ページを参照してください。(DVDとHDTVはVGAコネクタを介してサポートされます)



プロジェクトの電源をオフにするには

1. 電源を押してプロジェクトランプをオフにすると、プロジェクトの画面にメッセージが表示されます。

① 電源オフ?
電源を再投入してください

2. 電源を再度押して確定します。何もしないとこのメッセージは 15 秒後に消えます。
3. 冷却ファンが冷却サイクルのため約 10 秒間動作を続けます。
(プロジェクトの電源を再度入れたい場合は、プロジェクトの冷却サイクルが完了し、スタンバイモードになるのを待ってからオンにします。スタンバイモードになった後、電源を押してプロジェクトを再起動します。)
4. 主電源スイッチをオフにしてください。電源コードをコンセントとプロジェクトから抜きます。
5. 電源オフ手順の後すぐにプロジェクトの電源を入れないでください。

警告インジケータ

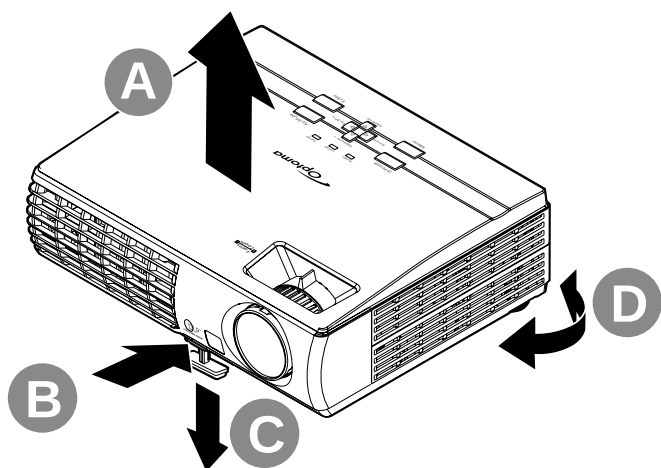
- ❖ 電源 LED インジケータが五 (5) 回繰り返して点滅すると、プロジェクトは自動的にシャットダウンします。お近くの販売店またはサービスセンターにご連絡ください。54-55 ページを参照してください。
- ❖ 温度 LED がオレンジ色に点灯している (点滅ではない) とき、プロジェクトは自動的にシャットダウンします。通常の状態下では、プロジェクトの冷却後再度オンにすることができます。問題が持続する場合、お近くの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。54-55 ページを参照してください。
- ❖ 電源 LED が六 (6) 回繰り返して点滅し、ランプ LED が一回点滅すると、ファンの故障を意味します。お近くの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。54-55 ページを参照してください。

投影画像の調整

プロジェクタの高さを調整するには

プロジェクタの設置時には次の点に注意してください。

- プロジェクタテーブルまたはスタンドは水平で頑丈である必要があります。
- スクリーンに対して垂直になるようにプロジェクタを配置します。
- ケーブルが安全な位置にあることを確認します。ケーブルにつまづくことがあります。



1. プロジェクタの高さを高くするには、プロジェクタ [A] を持ち上げ、高さアジャスタボタン [B] を押します。

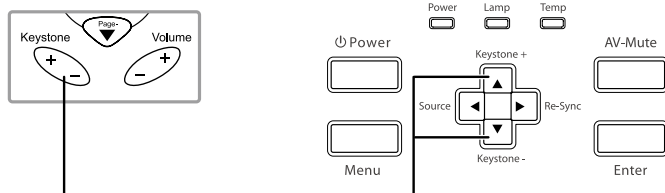
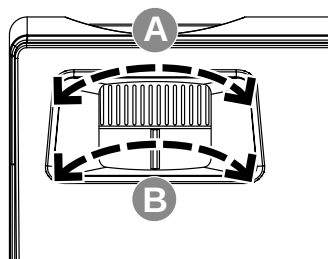
高さアジャスタが下がります [C]。

2. プロジェクタの高さを低くするには、高さアジャスタボタンを押してプロジェクタ上面を押します。
3. 画面の角度を調整するには、傾斜アジャスタ [D] を右または左に回し、必要な角度に調整します。

インストール

ズーム / フォーカスの調整

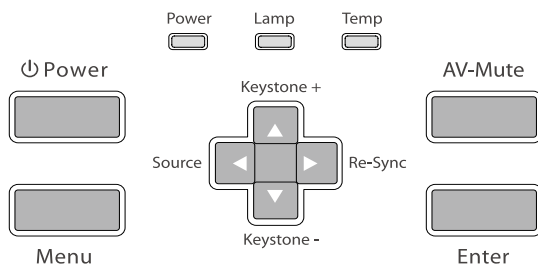
1. 画像ズームコントロール（プロジェクト上のみ）を使い、投影された画像とスクリーンサイズを変更します [B]。
2. 画像フォーカスコントロール（プロジェクト上のみ）を使い、投影された画像をシャープにします [A]。
3. キーストーンボタンを使い、画像の歪みを補正します。ボタンはリモートコントロールとプロジェクトのコントロールパネルにあります。



垂直台形歪み

0

コントロールパネル



コントロールパネルの使用

電源	15 ページの「プロジェクタの電源オン/オフ」セクションを参照してください。	
メニュー	メニュー を押すとオンスクリーンディスプレイ(OSD)メニューが開きます。OSDを終了するには再度 メニュー を押します。	
▲/キーストーン + (上矢印)	• 画像の台形歪みを正方向に補正します。 • OSDをナビゲートし、設定を変更します。	
▶/再同期 (右矢印)	• プロジェクタを入力ソースと自動的に同期します。 • OSDをナビゲートし、設定を変更します。	
▼/キーストーン - (下矢印)	• 画像の台形歪みを負方向に補正します。 • OSDをナビゲートし、設定を変更します。	
◀/ソース (左矢印)	• ソースを押して入力信号を選択します。 • OSDをナビゲートし、設定を変更します。	
AV-ミュート	一時的にオーディオとビデオをオフにします。	
Enter	項目選択を確定します。	
電源 LED	緑	ユニットの電源が投入され、正しく動作しています。
	緑の点滅	ユニットがスタンバイ/冷却状態にあります。
	オフ	ユニットの電源が入っていません。
ランプ LED	オン	ランプ準備中/電源ボタンを押さないでください。
	オフ	ランプが正常な状態にあります。
温度 LED	オン	システム過熱
	オフ	正常状態

リモートコントロール

リモートコントロールの使用



電源		15 ページの「プロジェクトの電源オン/オフ」セクションを参照してください。
ディスプレイ		使用環境に対して適当なプリセットモードを選択します。

四方向選択キー ▲▼◀▶ を使って項目を選択するか、選択の調整を行います。

PC / マウスコントロール PC / マウスコントロールを使い、マウスの動作を制御することができます。USBケーブルを使ってお使いのコンピュータとプロジェクトを接続し、マウス機能を有効にします。

L ボタン マウスの左クリックです。

R ボタン マウスの右クリックです。

ページ + このボタンを使い、前ページに移動します。

ページ - このボタンを使い、次ページに移動します。

◀ 項目選択を確定します。

ソース ソースを押して入力信号を選択します。

再同期 プロジェクトを入力ソースと自動的に同期します。

キーストーン +/- プロジェクトの傾きによる画像の歪みを調整します。(±30 度)

ボリューム +/- 音量の大きさを調整します。



リモートコントロールの使用

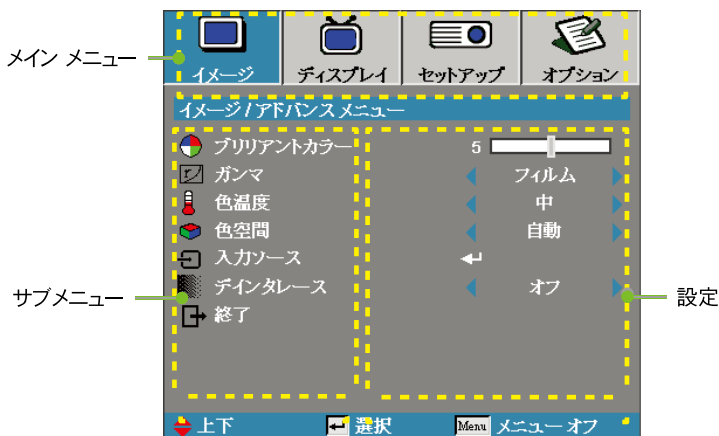
輝度	画像の明るさを調整します。
メニュー	メニュー を押すとオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが開きます。OSDを終了するには再度 メニュー を押します。
ズーム	+/ - を押して画像にズームインします。
HDMI	HDMI を押して HDMI ソースを選択します。
一時停止	一時停止 を押してスクリーンの画像を一時停止します。
AV ミュート	一時的にオーディオとビデオをオフにします。
S-Video	S-Video を押して S-Video ソースを選択します。
VGA	VGA を押してVGA 入力コネクタからのソースを選択します。
ビデオ	ビデオ を押してコンポジットビデオソースを選択します。

オンスクリーンディスプレイメニュー

プロジェクトの多言語オンスクリーンディスプレイメニューで画像の調整とさまざまな設定変更を行うことができます。プロジェクトは自動的にソースを検出します。

操作方法

1. OSD メニューを開くには、リモートコントロールまたはプロジェクトのキーパッドの**メニュー**を押します。
2. OSD が表示されたら、◀▶ キーを使ってメインメニューの項目を選択します。特定のページで選択を行うとき、▼ または **Enter** を押すとサブメニューに入ります。
3. ▲▼ キーを使い、お好みの項目を選択し、◀▶ キーで設定を調整します。
4. サブメニューで次に調整する項目を選択し、上述のように調整を行います。
5. **Enter** を押して確定すると、画面がメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、再度**メニュー**を押します。OSD メニューが閉じてプロジェクトが新しい設定を自動的に保存します。



イメージ	ディスプレイ	ディスプレー	プレゼンテーション/明るくV映画/sRGB/ユーザー1/ユーザー2
		輝度	
		コントラスト	
		シャープネス	
		色彩度	
		色調	
		色彩設定	
		アドバンスメニュー	
イメージ/色彩設定		赤ゲイン	
		緑ゲイン	
		青ゲイン	
		赤バイアス	
		緑バイアス	
		青バイアス	
		黄色	
		青緑色	
		マゼンタ	
		リセット	
		終了	
イメージ/アドバンスメニュー		プリアントカラー	
		ガンマ	フィルムビデオグラフィックス/PC
		色温度	冷/中/暖
		色空間	自動/RGB/YUV
		入力ソース	VGA/S-Video/Video/HDMI/終了
		デインタース	オフ/オン
		終了	
ディスプレイ		フォーマット	4:3/16:9/16:9-11/ネイティブ/XGA シリウス用自動
		オーバーサキャン	4:3/16:9/16:10/ネイティブ/WXGA シリウス用自動
		ズーム	
		水泳イメージシフト	
		垂直イメージシフト (16:9)	
		垂直台形歪み	
セットアップ		言語選択	English/Deutsch/Français/Italiano/Español/Portugués/ Polski/Nederlands/Svenska/Norsk/Dansk/Suomi/ Ελληνικά/繁體中文/简体中文/日本語/한국어/Русский/ Magyar/Cestina/Български/Türkçe/終了
		制御方式	
		メニュー位置	
		シリアル	
		セキュリティ	
		ミュート	
		音響	
		アドバンスメニュー	ロゴ/ロゴキャプチャ/Close Caption/終了
セットアップ/デジタル		周波数	
		位相	
		水平位置	
		垂直位置	
		終了	
セットアップ/セキュリティ		セキュリティタイマー	月/日/時/終了
		パスワード変更	いいえ/はい
		安全設定	無効/有効
		終了	
オプション		ソースロック	オフ/オン
		高画質エリア	オフ/オン
		信号搜索情報隠し	オフ/オン
		キーボードロック	オフ/オン
		背景	青/黒/赤/緑/白
		アドバンスメニュー	
		ランプ設定	
		リセット	
オプション/アドバンスメニュー		直接電源オン	オフ/オン
		オートパワーオフ(分)	
		スリープタイマー(分)	
		終了	
オプション/ランプ設定		ランプ使用時間	
		ランプ警告	オフ/オン
		ブライトモード	標準/明るい
		ランプリセット	いいえ/はい
		終了	

イメージ



ディスプレイ

さまざまな画像のタイプについて最適化されたたくさんの工場出荷初期設定があります。

- ▶ プレゼンテーション: コンピュータ入力に適した色と明るさです。
- ▶ 明るい: コンピュータ入力の最大輝度です。
- ▶ 映画: ホームシアター向けです。
- ▶ sRGB: 標準化された正確な色です。
- ▶ ユーザ1: ユーザの設定です。
- ▶ ユーザ2: ユーザの設定です。

このモードの初期デフォルト設定は映画モードからです。今後の使用のため、ユーザによるユーザ 1/2 での追加設定はこのモードに保存されます。

輝度

画像の明るさを調整します。

- ▶ ◀を押して画像を暗くします。
- ▶ ▶を押して画像を明るくします。

コントラスト

コントラストは、画像の最も明るい場所と最も暗い場所の間の差の程度をコントロールします。コントラストを調整すると、画像の黒と白の量が変わります。

- ▶ ◀を押してコントラストを上げます。
- ▶ ▶を押してコントラストを下げます。

イメージ



シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

- ▶ ◀を押してシャープネスを下げます。
- ▶ ▶を押してシャープネスを上げます。

色彩度

ビデオ画像を白黒から完全な彩度の色までの間で調整します。

- ▶ ◀を押して画像の彩度を下げます。
- ▶ ▶を押して画像の彩度を上げます。

色調

赤と緑の色バランスを調整します。

- ▶ ◀を押して画像の緑の量を増します。
- ▶ ▶を押して画像の赤の量を増します。

色彩設定

色彩設定メニューに入ります。画像全体の輝度調整には赤 / 緑 / 青ゲインを、コントラスト調整にはバイアスを選択します。青緑色、マゼンタ、黄色の個別色の調整も変えることができます。詳細は 26 ページを参照してください。

アドバンスメニュー

アドバンスメニューに入ります。ホワイトピーキングやガンマ、色温度、色空間、入力ソース、デインターレースなどの詳細ディスプレイオプションと終了を選択します。詳細は 27 ページを参照してください。

イメージ / 色彩設定



ゲイン

RGB ゲインを設定し、次の色の明るさを調整します：

- ▶ 赤：赤のゲイン値を増減します。
- ▶ 緑：緑のゲイン値を増減します。
- ▶ 青：青のゲイン値を増減します。

バイアス

RGB バイアスを設定し、次の色のコントラストを調整します：

- ▶ 赤：赤のバイアス値を増減します。
- ▶ 緑：緑のバイアス値を増減します。
- ▶ 青：青のバイアス値を増減します。

色

値を設定し、次の色のレベルを調整します：

- ▶ 黄色：黄色の色値を増減します。
- ▶ 青緑色：青緑色の色値を増減します。
- ▶ マゼンタ：マゼンタの色値を増減します。

リセット

すべての色彩設定値を工場出荷時の設定にリセットします。

イメージ / アドバンスメニュー



ブリリアントカラー

この調整可能アイテムは、新しい色処理アルゴリズムとシステムレベル機能を利用し、画像にリアルでより鮮やかな色を提供すると同時に、明るさをより高めることができます。範囲は 0 から 10 です。強い画像をお好みの場合、最大設定に向けて調整します。よりスムーズで自然な画像にするには最小設定に向けて調整します。

ガンマ

これにより、その入力用の最高の画像品質を引き出すために微調整されたガンマ補正表を選択することができます。

- ▶ フィルム：ホームシアター向けです。
- ▶ ビデオ：ビデオまたは TV ソース向けです。
- ▶ グラフィックス：画像ソース向けです。
- ▶ PC：PC またはコンピュータソース向けです。

色温度

色温度を調整します。冷色は画面をより冷たく見せ、暖色は画面をより温かく見せます。

色空間

AUTO、RGB、YUV から適切なカラーマトリクスタイプを選択します。

入力ソース

入力ソースサブメニューに入ります。起動時にスキャンするソースを選択します。詳細は 28 ページを参照してください。

デインタレース

カーソル ◀ または ▶ ボタンを押して異なるデインタレースモードを選択します。この機能はインターレースされたビデオ信号をプログレッシブ信号に変換します。

- ▶ オン：自動的にデインタレースモードとフィルムモードを切り換えます。
- ▶ オフ：ビデオソースまたは TV ソース向けにデインタレースモードをビデオモードに切り換えます。

イメージ / アドバンス / 入カソース



- ❖ いずれかのソースを選択しないと、プロジェクトは画像を一切表示できません。少なくとも 1 つのソースを常に選択してください。

入カソース

このオプションを使い、入力ソースを有効または無効にします。◀ または ▶ を押して下に示すような次のメニューに入り、▲ または ▼ を使って選択します。**Enter** を押して選択を確定します。プロジェクトは選択されていない入力を検索しません。

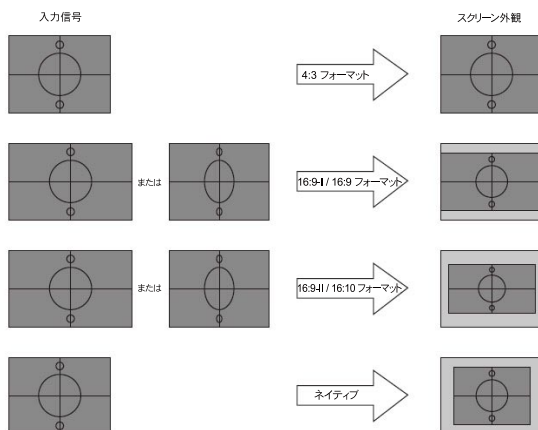
ディスプレイ



フォーマット

この機能を用い、お好みのアスペクト比を選択します。

- ▶ 4:3: このフォーマットは 4x3 入力ソース用で、ワイド画面 TV 向けではありません。
- ▶ 16:9 I (XGA シリーズ) / 16:9 (WXGA シリーズ): このフォーマットは HDTV や DVD など 16x9 入力ソース用で、ワイド画面向けです。
- ▶ 16:9 II (XGA シリーズ) / 16:10 (WXGA シリーズ): このプロジェクトの非標準的ワイド画面ディスプレイ用フォーマットです。画像のアスペクト比が 1.67:1 以下の場合、元の画像の一部が切れます。
- ▶ ネイティブ: 入力ソースの解像度によります。スケーリングは実行されません。
- ▶ 自動: 適切なフォーマットを自動的に選択します。



ディスプレイ



オーバースキャン

オーバースキャン機能でビデオ画像のノイズを取り除くことができます。画像をオーバースキャンしてビデオソースの端のビデオエンコーディングノイズを取り除きます。

ズーム

- ▶ ◀を押して画像のサイズを小さくします。
- ▶ ▶を押して投写スクリーン上の画像を大きくします。

水平イメージシフト

投影画像の位置を水平方向に移動します。

- ▶ ◀を押して投写スクリーン上で画像を左に動かします。
- ▶ ▶を押して投写スクリーン上で画像を右に動かします。

垂直イメージシフト(16:9のみ)

投影画像の位置を垂直方向に移動します(16:9 フォーマットのみ)。

- ▶ ▶を押して投写スクリーン上で画像を上動かします。
- ▶ ◀を押して投写スクリーン上で画像を下動かします。

垂直台形歪み

プロジェクタがスクリーンに対し傾斜して配置されているとき、◀ または ▶ を使って垂直方向の画像の歪みを補正します。

セットアップ



言語選択

言語メニューに入ります。多言語 OSD メニューを選択します。詳しくは 33 ページを参照してください。

投射方式

投射法を選択します：

- ▶ **P** フロントデスクトップ
工場出荷時の設定です。
- ▶ **Q** リアデスクトップ
この機能を選択すると、透過スクリーンの後方で投射できるようプロジェクトが画像を反転させます。
- ▶ **d** フロント天井
この機能を選択すると、天井取付投射向けにプロジェクトが画像を上下逆さにします。
- ▶ **b** リア天井
この機能を選択すると、プロジェクトが画像を反転させ、且つ上下逆さにします。天井取付投射で透過スクリーンの後方から投射することができます。

メニュー位置

表示画面上でメニューの位置を選択します。

セットアップ



シグナル

シグナルメニューに入ります。プロジェクタの信号属性を設定します。
詳しくは 34 ページを参照してください。

セキュリティ

セキュリティメニューに入ります。プロジェクタのセキュリティ機能にアクセスします。
詳しくは 35 ページを参照してください。

ミュート

音声オンとオフを切り替えます。

- ▶ オフ: スピーカーの音量がオンになります。
- ▶ オン: スピーカーの音量がオフになります。

音量

- ◀を押します 音声の音量を小さくするには。
- ▶を押します 音声の音量を大きくするには。

アドバンス メニュー

アドバンスメニューに入ります。起動中のスクリーンディスプレイを選択します。詳しくは 38 ページを参照してください。

セットアップ / 言語選択



言語選択

多言語 OSD メニューを選択します。ENTER () を押してサブメニューに入り、左 () または右 () キーを押して好みの言語を選択します。

セットアップ / シグナル



周波数

表示データ周波数をお使いのコンピュータのグラフィックカードの周波数に合わせて変更します。縦線がちらつく場合は、この機能を使って調整します。

位相

位相ではディスプレイの信号タイミングをグラフィックカードと同期します。画像が不安定またはちらつく場合は、この機能を使って補正します。

水平位置

- ▶ ◀を押して画像を左に移動します。
- ▶ ▶を押して画像を右に移動します。

垂直位置

- ▶ ◀を押して画像を下に移動します。
- ▶ ▶を押して画像を上移動します。

セットアップ / セキュリティ



セキュリティタイマー

セキュリティタイマーサブメニューに入ります。



❖ セキュリティタイマーまたは安全設定が有効な場合を除き、セットアップ/セキュリティへのアクセスに際してパスワードは要求されません。

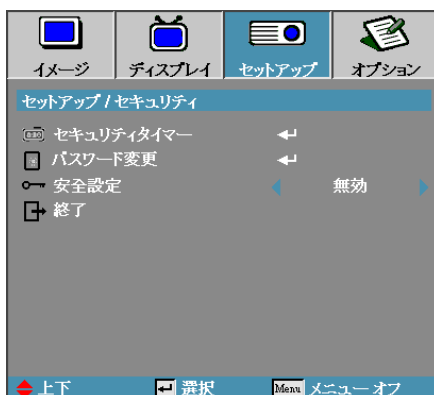
パスワードを入力せずにプロジェクトを使用できる期間を月、日、時間で入力します。セットアップメニューへ戻るとセキュリティタイマーが有効になります。

有効にされると、プロジェクトは指定された日付及び時間に電源投入とセキュリティメニューへのアクセスに際してパスワードを要求します。

プロジェクトが使用中でセキュリティタイマーが有効になっている場合、パスワードを要求する前に次の画面が 60 秒間表示されます。



セットアップ / セキュリティ



- ❖ 誤ったパスワードが3回入力されると、10秒後にプロジェクトが自動的にシャットダウンされます。

パスワード変更

このサブメニューを使ってプロジェクトのセキュリティパスワードを変更します。

1. セキュリティサブメニューからパスワード変更を選択します。パスワード変更確認ダイアログボックスが表示されます。
2. はいを選択します。



3. デフォルトのパスワード <1> <2> <3> <4> <5>を入力します。二つ目のパスワード画面が表示されます。

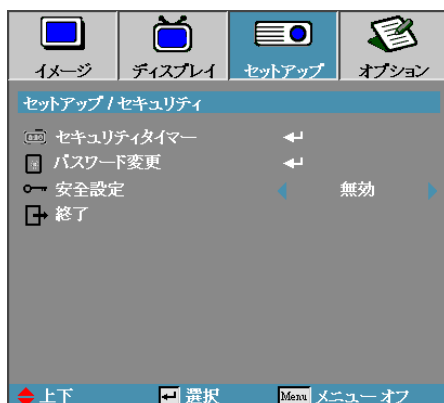


4. 新しいパスワードを確認のため2回入力します。



- ❖ 新しいパスワードがマッチしない場合、パスワード画面が再度表示されます。

セットアップ / セキュリティ



安全設定

セキュリティパスワードを有効または無効にします。

- ▶ 有効: プロジェクタの電源投入とセキュリティメニューへのアクセスに際して現在のパスワードが要求されます。
- ▶ 無効: 一切の機能にパスワードは要求されません。

セキュリティが有効になっていると、起動時とセキュリティメニューへのアクセスが許可される前に次の画面が表示されます:



セットアップ / アドバンスメニュー



ロゴ

起動時に表示する画面を選択します。

- ▶ オプトマ:工場出荷時に設定された起動画面です。
- ▶ User:ロゴキャプチャ機能を使ってカスタマイズされた画面キャプチャです。

ロゴキャプチャ

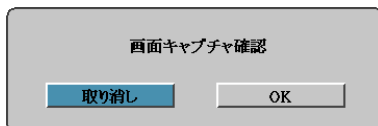
起動画面として使用するため表示された画面をキャプチャします。

1. プロジェクトにお好みの画面を表示します。
2. アドバンスメニューからロゴキャプチャを選択します。

確認画面が表示されます。



❖ スタートアップ画面は一度に一つだけ保存できます。続いてキャプチャすると 1.5MB に制限された前のファイルが上書きされます。



3. OKを選択します。画面キャプチャが進行中になります。
画面キャプチャ成功が表示されます。キャプチャされた画面が User としてロゴメニューに保存されます。

Close Caption

Closed Captioning を表示するスクリーンを選択します。

- ▶ オフ:デフォルト設定です。
- ▶ オン:クローズドキャプションテキストが利用可能な場合表示されます。

オプション



ソースロック

現在のソースをケーブルが抜かれていたとしても唯一利用可能なソースとしてロックします。

- ▶ オン: 現在のソースだけが入力ソースとして認識されます。
- ▶ オフ: イメージ | アドバンス | 入力ソースで選択されたすべてのソースが入力ソースとして認識されます。

高海拔エリア

環境に合わせてファン速度を調整します。

- ▶ オン: 高温、高湿、または高海拔の環境向けにファン速度を速くします。
- ▶ オフ: 一般的環境向けの通常のファン速度です。

信号搜索情報隠し

画面上の情報メッセージを隠します。

- ▶ オン: 操作中画面に状態メッセージが表示されません。
- ▶ オフ: 操作中画面上にノーマルと状態メッセージが表示されます。

オプション



キーパッドロック

プロジェクト上上面パネル上のボタンをロックします。

- ▶ オン: キーパッドロックを確認する警告メッセージが表示されます。

⚠ ENTERキーを5秒間押してキーパッドのロックを解除します。

- ▶ オフ: プロジェクトのキーパッドは通常通り機能します。

背景

ソースが検出されない場合に投影画像に表示される背景色を選択します。

アドバンスメニュー

アドバンスメニューに入ります。詳細は 41 ページを参照してください。

ランプ設定

ランプ設定メニューに入ります。詳細は 42-43 ページを参照してください。

リセット

すべてのオプションを工場出荷時の設定にリセットします。

オプション / アドバンスメニュー



直接電源オン

直接電源オンを有効または無効にします。

- ▶ オン: AC 電源が供給されるとプロジェクトの電源が自動的に投入されます。
- ▶ オフ: プロジェクトの電源を通常通りに入れる必要があります。

オートパワーオフ

オートパワーオフの間隔を設定します。プロジェクトはデフォルトで信号が 30 分間ないと自動的にランプの電源を切ります。電源オフになる前に警告が 60 秒間表示されます。

プロジェクトは自動的にオフになります 60 秒

スリープタイマー

スリープタイマー間隔を設定します。指定された時間活動がないと(信号に関係なく)、プロジェクトの電源が切れます。電源オフになる前に警告が 60 秒間表示されます。

プロジェクトは自動的にオフになります 60 秒

オプション / ランプ設定



ランプ使用時間

ランプがそれまでに動作した時間数を表示します。この項目は表示機能のみです。

ランプ警告

ランプ寿命警告を有効または無効にします。

- ▶ オン: ランプの残り寿命が 30 時間未満になると警告メッセージが表示されます。

 ランプの使用時間は

- ▶ オフ: 警告メッセージが表示されません。

ブライトモード

ランプのブライトモードを選択します。

- ▶ ブライト: デフォルト設定です。
- ▶ 標準: ランプの寿命を延ばすため低い輝度設定にします。

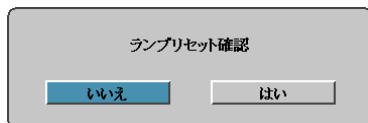
オプション / ランプ設定



ランプリセット

ランプを交換した後、ランプカウンターをリセットして新しいランプの寿命を正しく反映させます。

1. ランプリセットを選択します。
確認画面が表示されます。



2. **はい**を選択してランプカウンターをゼロにリセットします。



トラブルシューティング

プロジェクトに問題が生じた場合、次の情報を参考にしてください。問題が解決しない場合は地域の販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

画像の問題

スクリーンに画像が表示されない

- ▶ **インストール**セクションで説明されている通りにすべてのケーブルと電源接続が正しくしっかりと接続されていることを確認します。
- ▶ コネクタのピンが曲がっていたり、破損したりしていないか確認します。
- ▶ ランプがしっかりと取り付けられているか確認します。**ランプ交換**セクションを参照してください。
- ▶ レンズキャップを外し、プロジェクトの電源が投入されていることを確認します。

部分的、スクローリング、正しくない画像が表示される

- ▶ リモートコントロールの「再同期」を押します。
- ▶ PCを使用している場合：
Windows 95、98、2000、XP向け：
 1. **マイコンピュータ**アイコンから**コントロールパネル**フォルダを開いて、**画面**アイコンをダブルクリックします。
 2. **設定**タブを選択します。
 3. お使いのディスプレイ解像度の設定が UXGA (1600 x 1200) 以下であることを確認します。
 4. **詳細設定**ボタンをクリックします。
プロジェクトが画像全体を表示しない場合、お使いのモニタディスプレイを変更する必要があります。次の手順に従ってください：
 5. ディスプレイ解像度の設定が UXGA (1600 x 1200) 以下であることを確認します。
 6. **モニタ**タブの**変更**ボタンを選択します。
 7. **すべてのデバイスを表示する**をクリックします。続いて、SP 枠で**標準モニタ種類**を選択し、「モデル」枠で必要な解像度モードを選択します。
 8. モニタディスプレイの解像度設定が UXGA (1600 x 1200) 以下であることを確認します。(*)

▶ ノートブックをご使用の場合：

1. まず上記の手順に従い、コンピュータの解像度を調整します。
2. 出力設定切り換えを押します。例：[Fn]+[F4]

Acer ⇨	[Fn]+[F5]	IBM/Lenovo ⇨	[Fn]+[F7]
Asus ⇨	[Fn]+[F8]	HP/Compaq ⇨	[Fn]+[F4]
Dell ⇨	[Fn]+[F8]	NEC ⇨	[Fn]+[F3]
Gateway ⇨	[Fn]+[F4]	Toshiba ⇨	[Fn]+[F5]

Mac アップル：

システム環境設定 ⇨ ディスプレイ ⇨ 構成 ⇨ ミラーディスプレイ

解像度の変更が困難な場合、またはモニタがフリーズする場合は、プロジェクタを含むすべての装置を再起動してください。

ノートブックまたは PowerBook コンピュータの画面がブレンゼンテーションを表示しない

▶ ノートブックをご使用の場合：

一部のノートブックは 2 つ目のディスプレイ装置が使用中のとき、ノートブックの画面を動作しない状態にする場合があります。再動作させる方法はそれぞれ異なります。詳しくはお使いのコンピュータのマニュアルを参照してください。

画像が不安定、またはちらつく

- ▶ 位相を使って補正します。詳しくは 34 ページを参照してください。
- ▶ お使いのコンピュータのモニタ色彩設定を変更します。

画像に縦線がちらつく

- ▶ 周波数を使って調整します。詳しくは 34 ページを参照してください。
- ▶ お使いのグラフィックカードのディスプレイモードを確認・設定してプロジェクタに合うようにします。

画像の焦点が合っていない

- ▶ レンズキャップが外されていることを確認します。
- ▶ プロジェクタレンズのフォーカシングを調整します。
- ▶ プロジェクタから必要な距離の間に投写スクリーンがあることを確認します。詳しくは 17-18 ページを参照してください。

16:9 DVD 作品を表示するとき画像が伸びる

スクイーズ方式の DVD または 16:9 DVD を再生する場合、プロジェクタ側を OSD で 16:9 フォーマットにするとプロジェクタは最高の画像を表示します。4:3 フォーマットの DVD 作品を再生する場合は、プロジェクタ OSD でフォーマットを 4:3 に変更してください。画像がまだ伸びる場合は、次を参照してアスペクト比を調整する必要があります：

- ▶ DVD プレイヤーのディスプレイフォーマットを 16:9 (ワイド) アスペクト比タイプに設定してください。

画像が小さすぎる、または大きすぎる

- ▶ プロジェクタ上部のズームリングを調整します。
- ▶ プロジェクタをスクリーンに近づけるか、遠ざけます。
- ▶ リモートコントロールまたはプロジェクタパネル上の [メニュー] ボタンを押して、**ディスプレイ | フォーマット**を開き、異なる設定を試してみます。

画像のサイドが斜めに歪む

- ▶ 可能であればプロジェクタがスクリーンの中央かつスクリーン底部の下になるようプロジェクタを配置しなします。
- ▶ サイドが垂直になるまでリモートコントロール上の [キーストーン +/-] ボタンを押します。

画像が反転している

- ▶ **セットアップ | 投射方式**を OSD から選択し、投射方向を調整します。

中断の問題

プロジェクタがコントロールに一切反応しない

- ▶ 可能であればプロジェクタの電源を切り、電源コードを抜いて少なくとも 60 秒間待ってから再度電源を接続します。

ランプが焼きつく、または弾けるような音がする

- ▶ ランプが寿命に達すると、ランプは焼きつき、弾けるような大きな音を発する場合があります。これが起こった場合、プロジェクタはランプモジュールを交換するまでオンにすることができません。ランプの交換は、49 ページのランプ交換手順に従ってください。



❖ キーストーンの使用は推奨されません。

プロジェクト状態表示

エラーコードメッセージ	電源 LED/ 点滅回数	ランプ LED/ 点滅回数
断熱状態エラー	4	0
ファン 1 エラー (電源ファン)	6	1
ファン 2 エラー (ランプファン)	6	2
ファン 3 エラー (ブローファン)	6	3
ランプドアセンサー検出高	7	0
DMD エラー	8	0
カラーホイールエラー	9	0

メッセージ警告

- ▶ ランプの交換:

 ランプの使用時間は

- ▶ 範囲外: (詳しくは以下を参照してください)



入力信号を受信できません。
画像解像度を低くしてください。

リモートコントロールの問題

リモートコントロールが動作しない場合

- ▶ リモートコントロールの操作角度が約 $\pm 15^\circ$ であることを確認します。
- ▶ リモートコントロールとプロジェクタ間に障害物がないことを確認します。プロジェクタの 7m (23 ft) 以内で移動します。
- ▶ 電池が正しく入れられているか確認します。
- ▶ リモートコントロールの電池が弱い場合は交換します。

音声の問題

音がしない

- ▶ リモートコントロールのボリュームを調整します。
- ▶ 音声ソースのボリュームを調整します。
- ▶ オーディオケーブルの接続を確認します。
- ▶ ソース音声の出力を別のスピーカーでテストします。
- ▶ プロジェクタの修理を依頼します。

サウンドがひずむ

- ▶ オーディオケーブルの接続を確認します。
- ▶ ソース音声の出力を別のスピーカーでテストします。
- ▶ プロジェクタの修理を依頼します。

ランプの交換

投写用ランプが切れたら交換する必要があります。認定された交換部品で交換を行なってください。部品はお買い上げ店で注文することができます。

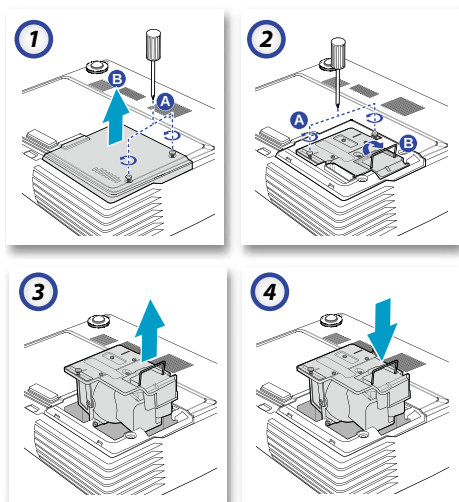
重要：

- ▶ ランプは一定量の水銀を含み、地域の条例に従って処理する必要があります。
- ▶ 新しいランプのガラス表面に触れないようにしてください。触れると使用寿命が短くなることがあります。



警告：

- ▶ ランプ交換の少なくとも1時間前にプロジェクタの電源を切り、電源を抜いてください。これを怠ると重大なやけどを引き起こすことがあります。



1. ランプ取付部カバー上の2本のネジを緩めます (A)。ランプ取付部カバーを開けます (B)。
2. ランプモジュールから2本のネジを取り外します (A)。モジュールのハンドルを上を持ち上げます (B)。
3. モジュールのハンドルをしっかりと引いてランプモジュールを取り外します。
4. 5 & 6. 取り付けは取り外しと逆の動作を行います。

ランプを交換した後、ランプ使用時間をリセットする必要があります。詳しくは 43 ページを参照してください。



プロジェクタのお手入れ

プロジェクタをきれいにし、ほこりやすすを取り除くことはトラブルのない動作につながります。

警告：

- ▶ お手入れの少なくとも1時間前にプロジェクタの電源を切り、電源を抜いてください。これを怠ると重大なやけどを引き起こすことがあります。
- ▶ お手入れには湿らせた布のみを使用してください。プロジェクタ上の通気口に水が入らないようにしてください。
- ▶ お手入れの際に少量の水がプロジェクタ内部に入ってしまった場合、使用する前に数時間通気のよい場所に電源を挿入せず放置してください。
- ▶ お手入れの際に大量の水がプロジェクタ内部に入ってしまった場合、プロジェクタのメンテナンスを依頼してください。

レンズのお手入れ

ほとんどのカメラ店で光学レンズクリーナーを購入することができます。次の手順に従い、プロジェクタレンズのお手入れを行ってください。

1. 少量の光学レンズクリーナーをきれいで柔らかい布につけます。(レンズに直接クリーナーをつけないでください。)
2. 円を描くようにレンズを軽く拭きます。

注意：

- ▶ 研磨クリーナーやシンナーを使用しないでください。
- ▶ プロジェクタケースの変色や色落ちを防ぐため、クリーナーがケースに付着しないようにしてください。

ケースのお手入れ

次の手順に従い、プロジェクタケースのお手入れを行ってください。

1. きれいな湿らせた布でほこりを拭取ります。
2. お湯と薄い洗剤(食器洗い用洗剤など)で布を湿らせ、ケースを拭きます。
3. 布の洗剤を洗い落とし、再度プロジェクタを拭きます。

注意：

ケースの変色や色落ちを防ぐため、研磨剤やアルコールベースのクリーナーを使用しないでください。

互換モード

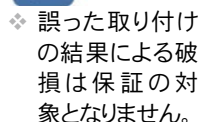
コンピュータ互換性

信号	解像度	走査周波数(Hz)
NTSC	-	60
PAL/SECAM	-	50
VESA	640 x 350	70.1/ 85.1
	640 x 400	70.1 / 85.1
	720 x 350	70
	720 x 400	70/ 85/ 88
	720 x 576	50/ 60
VGA	640 x 480	60/ 67/ 72.8/ 75/ 85
SVGA	800 x 600	56.3/ 60.3/ 75/ 72.2/ 80/ 85.1
	832 x 624	72/ 75
	1024 x 576	50/ 60
XGA	1024 x 768	60/ 70.1/ 72/ 75/ 85/ 87
	1152 x 864	60/ 70/ 75/85/ 75
	1152 x 870	75
HD720	1280 x 720	50/ 60/ 75/ 85
WXGA	1280 x 768	60/ 70/ 75/ 85
WXGA-800	1280 x 800	60
SXGA	1280 x 1024	60/ 75/85
SXGA+	1400 x 1050	60
UXGA	1600 x 1200	60
	1600 x 1050	60
HD1080	1920 x 1080	24/ 50/ 60/75
WUXGA	1920 x 1200	60/ 75
HDTV	1920 x 1080i	50/ 60
	1920 x 1080p	50/ 60
	1280 x 720p	50/ 60
SDTV	720 x 576i	50
	720 x 576p	50
	720 x 480i	60
	720 x 480p	60

Apple Mac 互換性

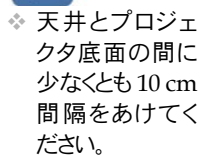
解像度		Macbook	Macbook Pro (Intel)	Power Mac G5	Power Mac G4
	Hz-	アナログ	アナログ	アナログ	アナログ
800x600	60	o	o	-	-
800x600	72	o	o	o	o
800x600	75	o	o	o	o
800x600	85	o	o	o	o
1024x768	60	o	o	o	o
1024x768	70	o	o	o	o
1024x768	75	o	o	o	o
1024x768	85	o	o	o	o
1280x720	60	o	o	o	o
1280x720	75	o	o	-	o
1280x720	85	o	o	-	o
1280x768	60	o	o	-	o
1280x768	75	o	o	o	o
1280x768	85	o	o	-	o
1280x800	60	o	o	o	o
1280x1024	60	-	o	o	o
1280x1024	75	-	o	o	-
1680x1050	60	o	o	-	-
1920x1200	60	o	o	-	-

プロジェクトへの破損を防ぐため、取り付けには推奨の取付バックをご利用ください。



準拠性を守るため、次の仕様を満たした UL 認定規格の天井取付装置とネジのみを使用してください:

プロジェクトの天井取付は次の図を参照してください。



❖ エアコンやヒーターなど熱源の近くにプロジェクトを配置しないでください。過熱はプロジェクトの電源を落とす場合があります。



Optoma 社 お問い合わせ先

サービスやサポートにつきましては、最寄のオフィスまでご連絡ください。

アメリカ

715 Sycamore Drive
Milpitas, CA 95035, USA
電話 : 408-383-3700
www.optomausa.com

Fax : 408-383-3702
メールアドレス : services@optoma.com

カナダ

5630 Kennedy Road, Mississauga,
ON, L4Z 2A9, Canada
電話 : 905-361-2582
www.optoma.ca

Fax : 905-361-2581

ヨーロッパ

42 Caxton Way, The Watford Business Park
Watford, Hertfordshire, WD18 8QZ, UK
電話 : +44 (0) 1923 691 800
www.optoma.eu

Service Tel : +44 (0)1923 691865 メールアドレス : service@tsc-europe.com

フランス

Bâtiment E 81-83 avenue Edouard Vaillant
92100 Boulogne Billancourt, France

電話 : +33 1 41 46 12 20 Fax : +33 1 41 46 94 35
メールアドレス : savoptoma@optoma.fr

スペイン

C/ José Hierro, 36 Of, 1C
28529 Rivas Vacia, Madrid, Spain
電話 : +34 91 499 06 06

Fax : +34 91 670 08 32

ドイツ

Werftstrasse 25 D40549
Düsseldorf, Germany
電話 : +49 (0) 211 506 6670
メールアドレス : info@optoma.de

Fax : +49 (0) 211 506 66799

スカンジナビア

Grev Wedels Plass 2
3015 Drammen, Norway
電話 : +47 32 26 89 90
メールアドレス : info@optoma.no

Fax : +47 32 83 78 98

南米

715 Sycamore Drive
Milpitas, CA 95035, USA
電話 : 408-383-3700
www.optoma.com.br

Fax : 408-383-3702
www.optoma.com.mx

韓国

WOOMI TECH.CO.,LTD
4F, Minu Bldg.3.tw3-14, Kangnam-Ku, seoul, 135-815, KOREA
電話 : +82+2+34430004
Fax : +82+2+34430005

日本

東京都足立区綾瀬3-25-18
株式会社オーエスエム
サポートセンター:0120-46-5040
E-mail : info@osscreen.com

www.os-worldwide.com

Taiwan

5F., No. 108, Minchiuan Rd., Shindian City,
Taipei Taiwan 231, R.O.C.
電話 : +886-2-2218-2360
www.optoma.com.tw
メールアドレス : services@optoma.com.tw

Fax : +886-2-2218-2313
asia.optoma.com

香港

Unit A, 27/F Dragon Centre, 79 Wing Hong Street,
Cheung Sha Wan, Kowloon, Hong Kong
電話 : +852-2396-8968
www.optoma.com.hk
Fax : +852-2370-1222

中国

5F, No. 1205, Kaixuan Rd., Changning District
Shanghai, 200052, China
電話 : +86-21-62947376
www.optoma.com.cn
Fax : +86-21-62947375

規制及び安全に関する情報

この付録にはお使いプロジェクトに関する一般情報を記載しています。

FCC 情報

この装置はテストの結果、FCC規制パート15によるクラスBデジタル装置の制限に準拠していることが証明されています。これらの制限は、住宅環境に設置した場合に、有害な電波干渉から適正に保護することを目的としています。この装置は電波を発生、使用しており、放出する可能性があるため、説明書に従って設置または使用しないと、無線通信を妨害することがあります。

但し、一定の設置条件で妨害が発生しないことを保証するものではありません。この装置がラジオやテレビの受信に有害な電波干渉を起こす場合（この装置のオフとオンを切り換えることで判別可能）、ユーザは次のうち一つ以上の対策を行い、干渉を正す必要があります：

- ▶ 受信アンテナの方向または位置を変えます。
- ▶ 本装置と受信機間の距離を離します。
- ▶ 受信機が接続されているコンセントとは別の回路上にあるコンセントに本装置を接続します。
- ▶ 販売店または経験のあるラジオまたはテレビ技術者に問い合わせます。

注意：シールドケーブル

他のコンピュータ装置への接続はシールドケーブルを使い、FCC 規制への準拠性を維持する必要があります。

注意：

製造元により明示的に許可されていない変更または修正を行うと、連邦通信委員会により認められた本プロジェクトを操作するためのユーザ権限が無効になります。

操作条件

この装置はFCC規制パート15に準拠しています。操作は次の2つの条件の対象となります：

1. 本装置が有害な電波干渉を引き起こさないこと、そして
2. 本装置が不具合を生じ得るような障害に対応し得ること。

注意：カナダのユーザ

本クラスBデジタル装置はカナダICES-003に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numerique de la classe B est conforme a la norme NMB-003 du Canada.

EU 諸国向け準拠性の宣言

- ▶ EMC 指令 2004/108/EC (修正含む)
- ▶ 低電圧指令 2006/95/EC
- ▶ R & TTE 指令 1999/5/EC (製品に無線機能がある場合)

廃棄についての説明



廃棄時は本電子機器をゴミ箱に捨てないでください。
汚染を最少にし、地球環境を守るため、リサイクルしてください。